

18歳意識調査 「第28回 - SNS -」詳細版

日本財団 2020年7月30日

目次

調査概要	3
SNS利用経験	5
使用 SNS	6
SNSの使用用途	7
SNS使用時間	8
SNS使用状況 / SNSは生活に必要不可欠	9
SNS使用状況 / SNSに依存している	10
SNS使用状況 / SNSアカウントに本名を載せている	11
SNS使用状況 / SNSアカウントに顔写真を載せている	12
SNSを通じた誹謗中傷の被害の有無	13
SNSを通して誹謗中傷を受けた原因	14
SNS上での根拠の希薄な批判や悪口の発信の有無	15
根拠の希薄な批判や悪口を発信した理由	16
SNS上で誹謗中傷発言をシェア・リツイートした経験の有無	17
誹謗中傷発言をシェア・リツイートした理由	18
医療従事者や配送業者に対する SNS上での誹謗中傷の原因	19
リアリティショー出演者に対する SNS上での誹謗中傷の原因	20
SNSの法整備の必要性	21
SNSの法整備の必要性「必要である」回答理由	22
SNSの法整備の必要性「必要はない」回答理由	23
法整備に向けて盛り込むべき点	24
ネットリテラシーを学んだ経験の有無	25
ネットリテラシーを学んだ場所	26
ネットリテラシーを教えるべき場所	27
急速に拡大した SNSをうまく使いこなすためには	28

調査概要「18歳意識調査」 - SNS -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 1000
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2020年6月12日（金）～6月14日（日）

調査手法 インターネット調査

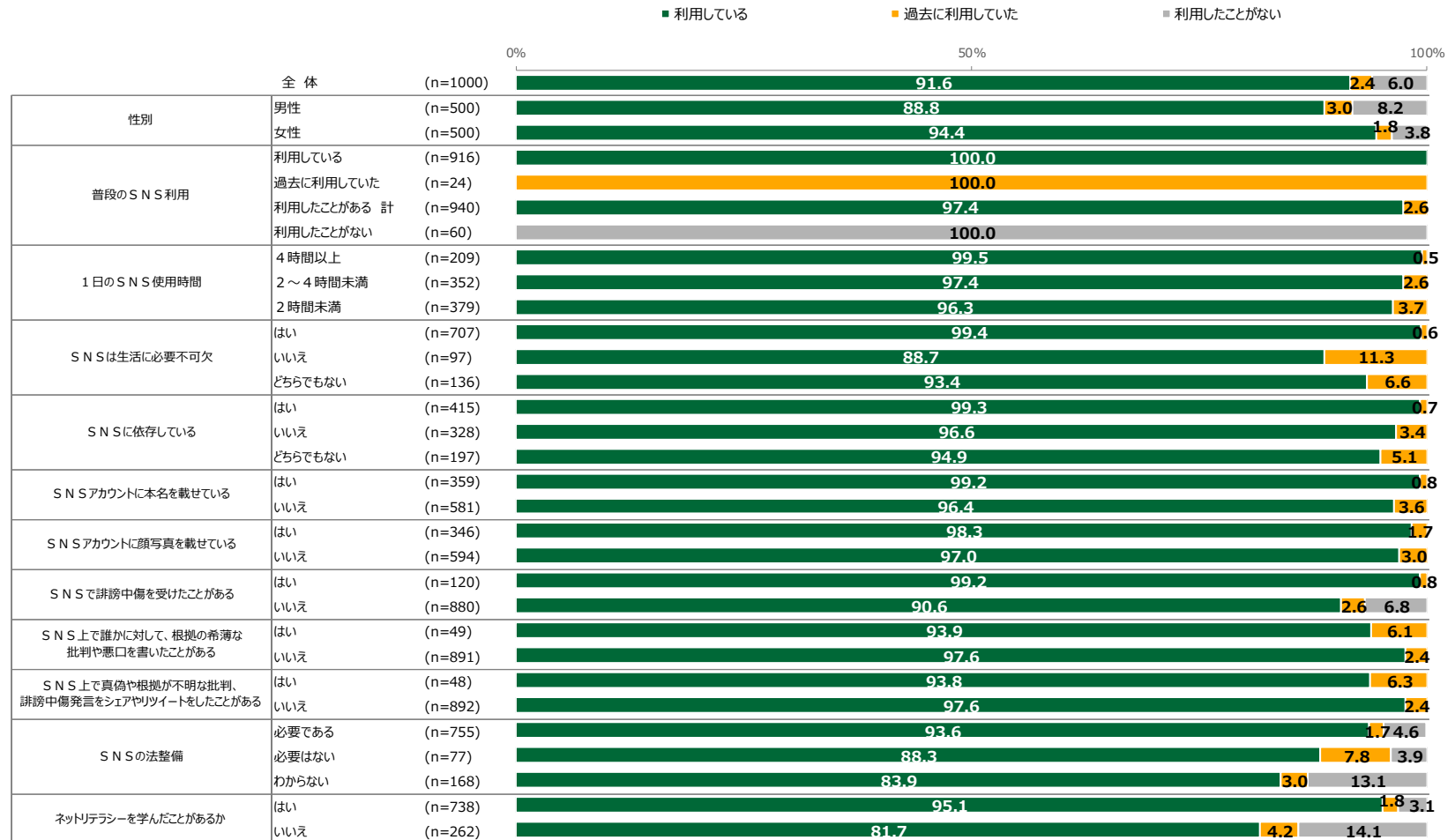
※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

詳細

S N S 利用経験

- S N S を普段利用しているのは全体の91.6%。過去に利用していた人（2.4%）も含め、94.0%が利用経験あり。

Q 普段からS N Sを利用していますか。

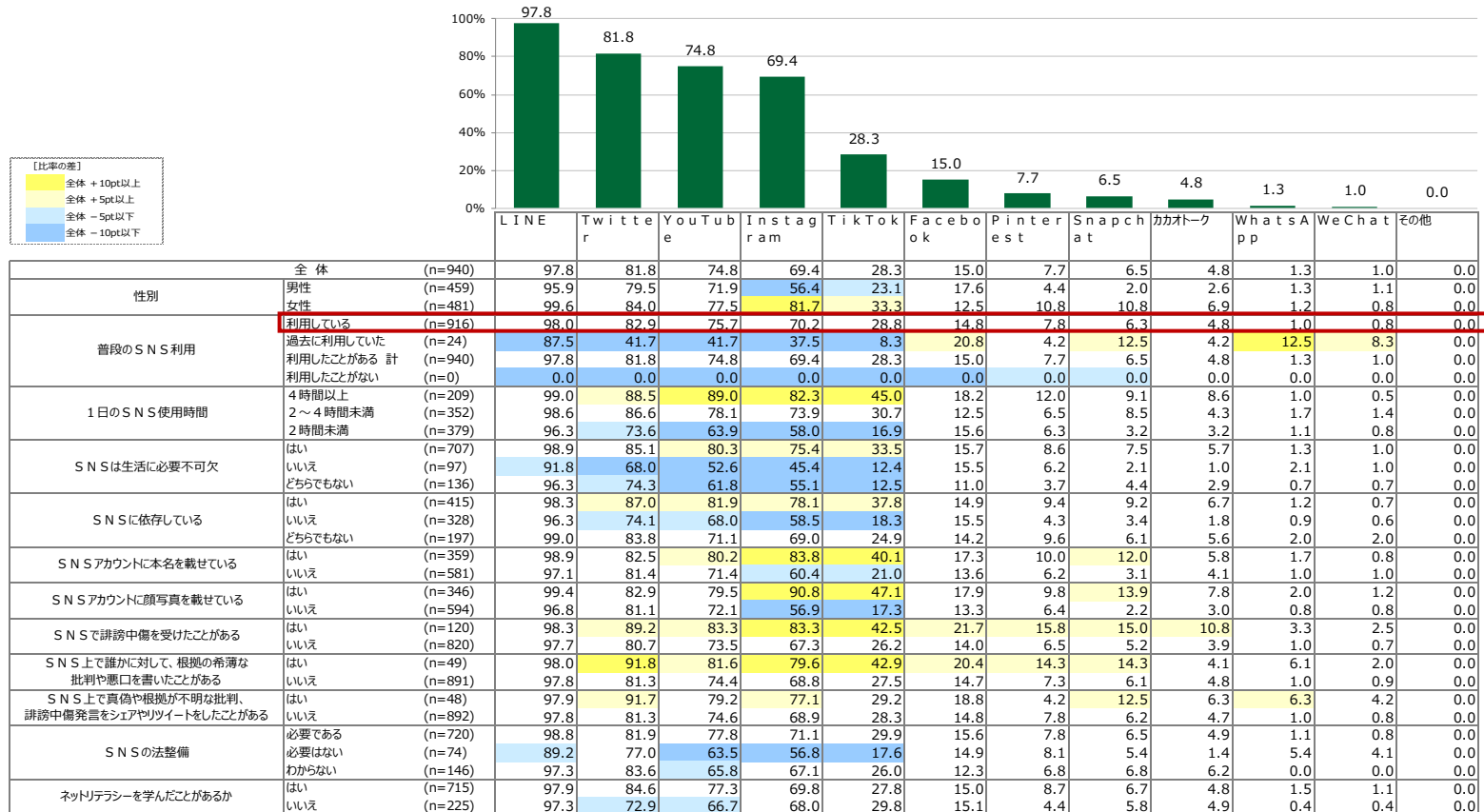


使用SNS

- 使用経験のあるSNSは、「LINE」(97.8%) が最多。次いで「Twitter」(81.8%)、「YouTube」(74.8%)、「Instagram」(69.4%) と続く。
- 5位の「TikTok」が28.3%と、上位4つの使用率が5位以下を大きく引き離す。
- SNS現使用者の使用SNSについても、使用経験者全体と同様の傾向。

■ SNS使用経験者

Q 使用している（していた）SNSを選択してください。（複数回答）

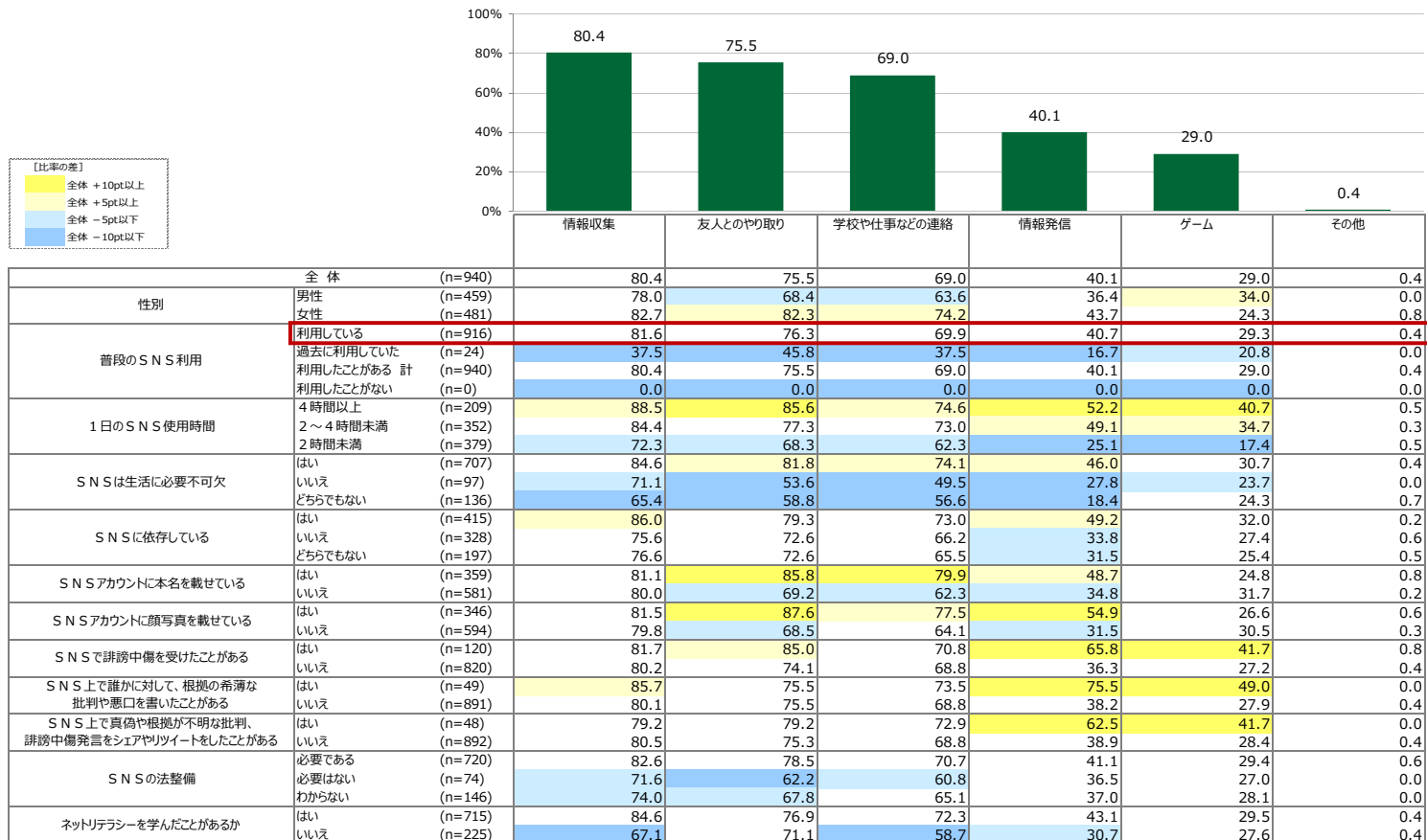


S N Sの使用用途

- SNSは「情報収集」(80.4%)が主な使用用途。次いで「友人とのやり取り」(75.5%)、「学校や仕事などの連絡」(69.0%)での使用が多い。
- SNS現使用者の使用用途についても、使用経験者全体と同様の傾向。

■ SNS使用経験者

Q SNSをどのように使っていますか(いましたか)。(複数回答)

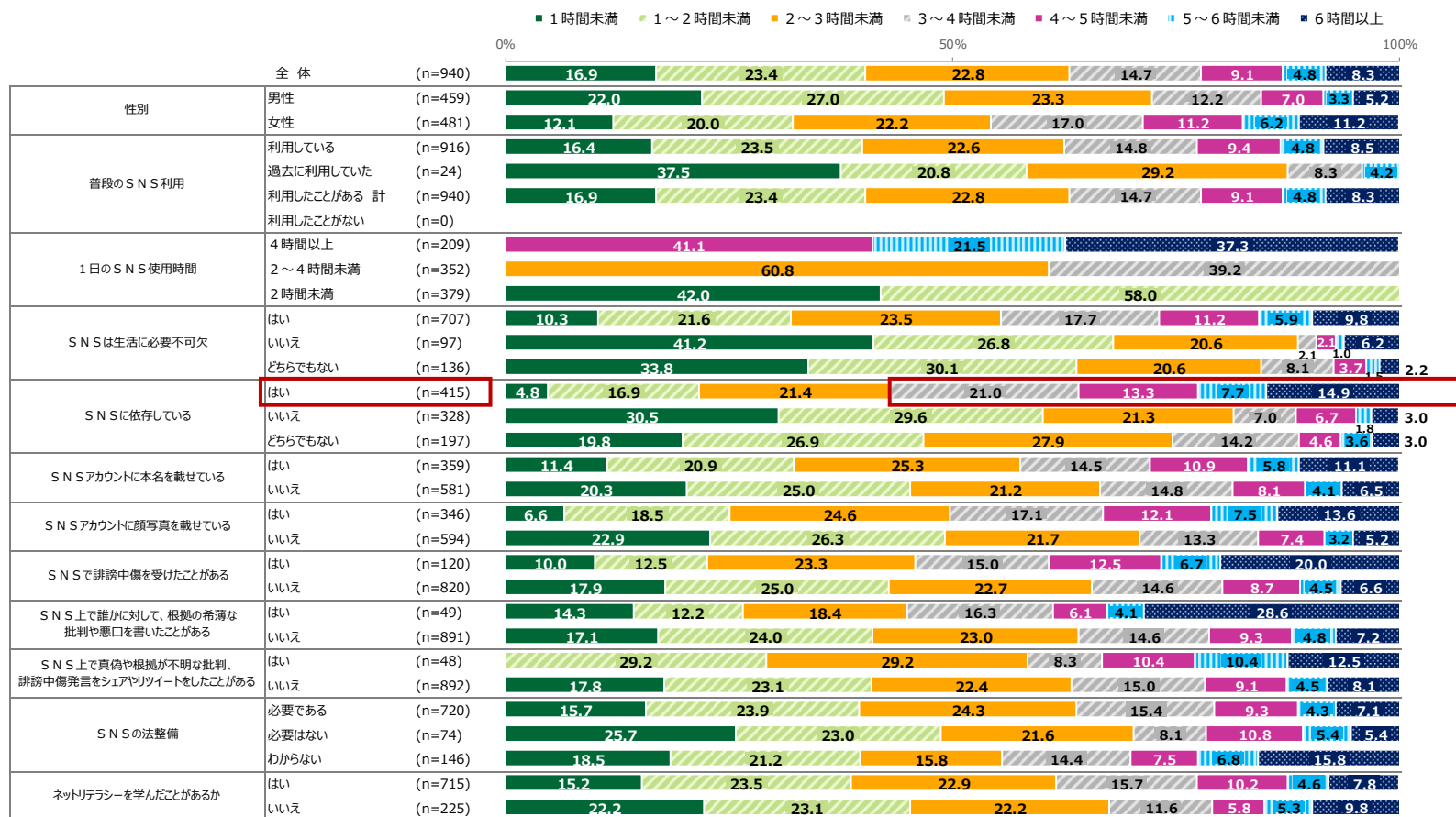


S N S 使用時間

- SNS使用時間は、「1～2時間未満」(23.4%)が最多。次いで「2～3時間未満」(22.8%)、「1時間未満」(16.9%)と続く。過半数が3時間未満。
- SNSに依存している層は、3時間以上という回答が全体に比べて多く、過半数。

■ SNS使用経験者

Q 1日にどのぐらいの時間をSNSに割いていますか(いましたか)。



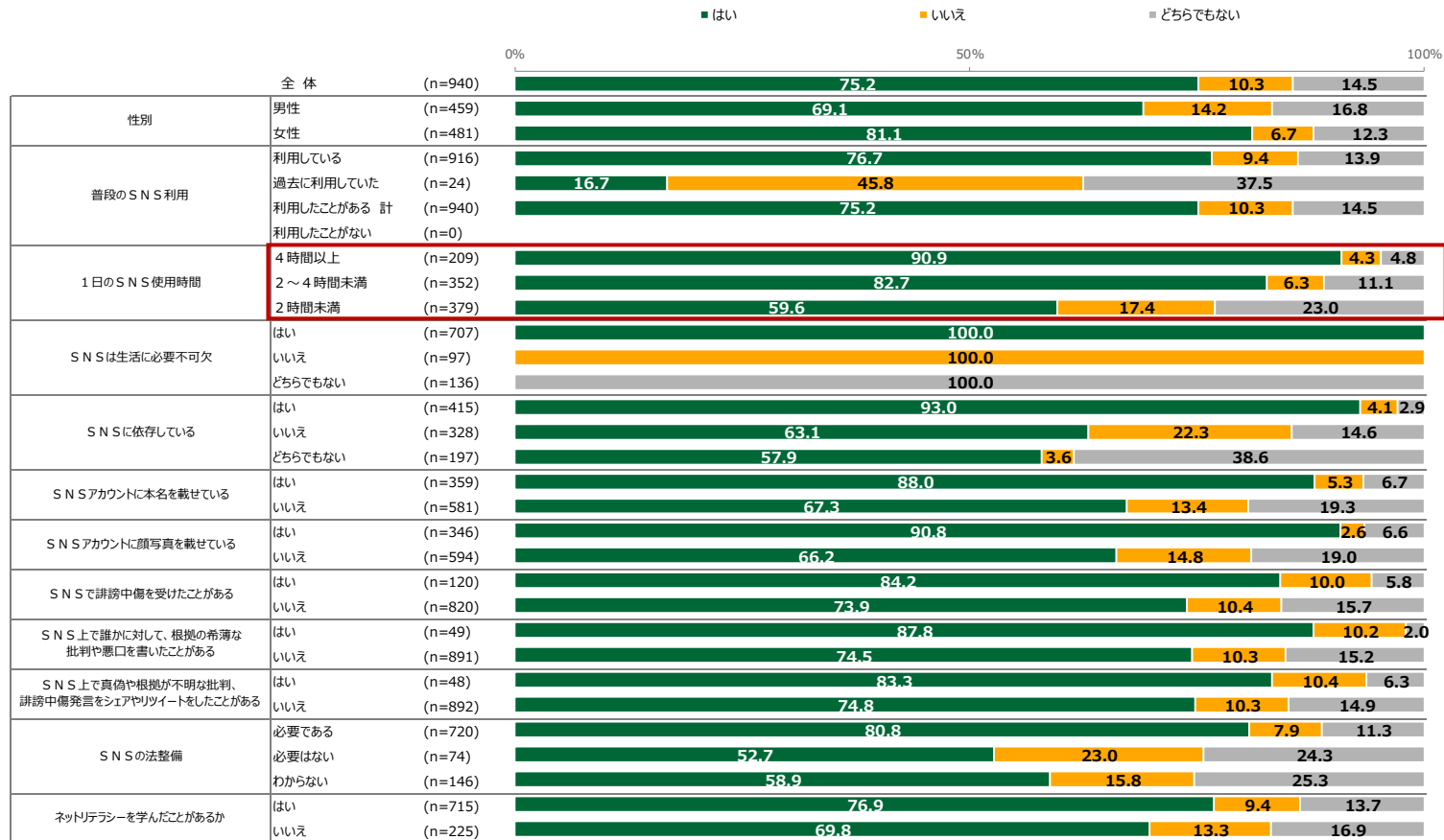
S N S 使用状況 / S N S は生活に必要不可欠

- S N S 使用経験者の75.2%が「はい (= S N S は生活に必要不可欠)」と回答。
- S N S 使用時間が長い層ほど、「必要不可欠」と感じている。

■ S N S 使用経験者

Q 以下についてお答えください。

S N S はあなたの生活に必要不可欠ですか (でしたか)



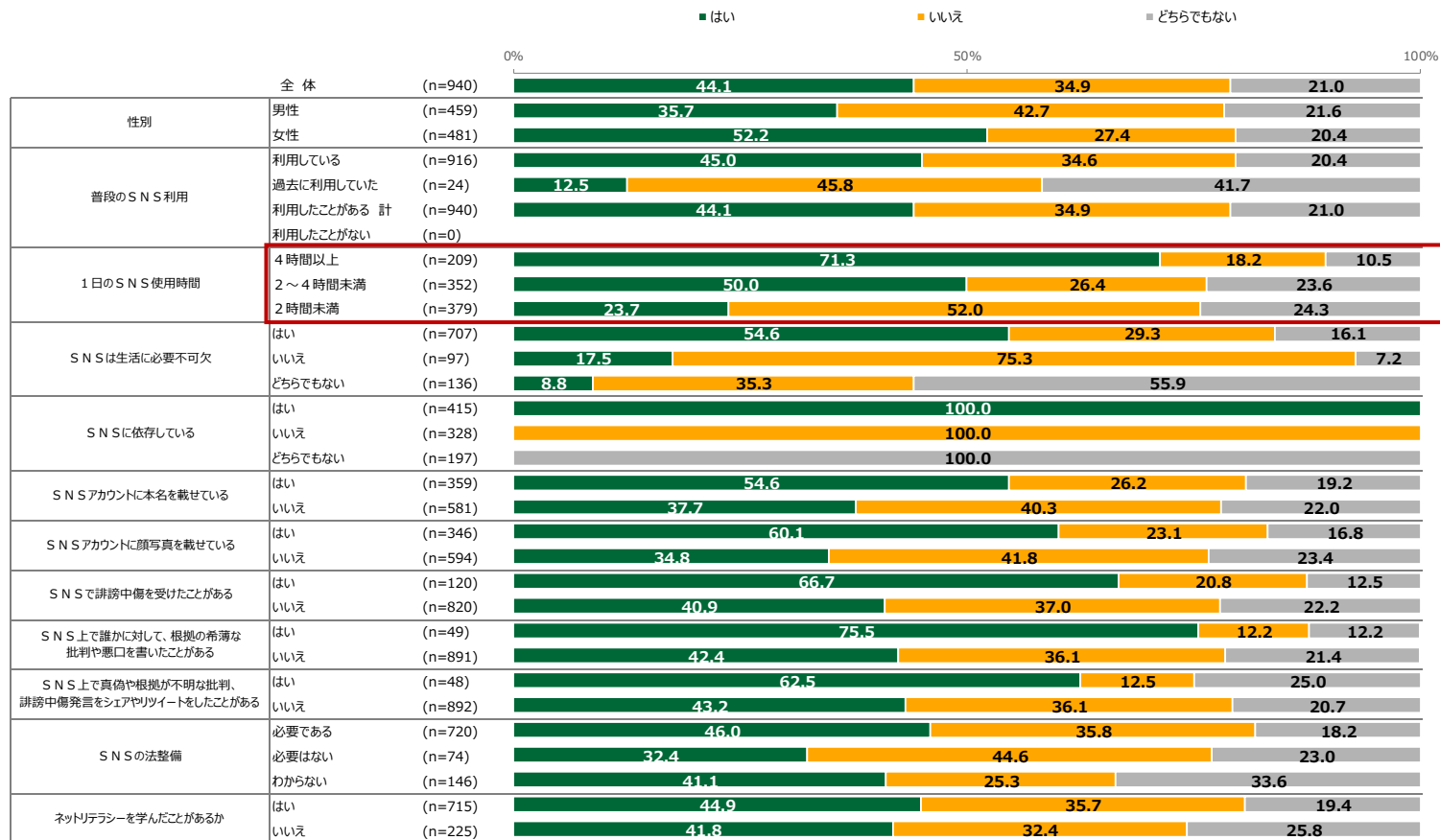
S N S 使用状況 / S N S に依存している

- S N S 使用経験者の44.1%が「はい (= 依存している・していた)」と回答した。
- S N S 使用時間が長い層ほど、「依存している」と感じている。

■ S N S 使用経験者

Q 以下についてお答えください。

あなたはS N S に依存している (していた) と思いますか



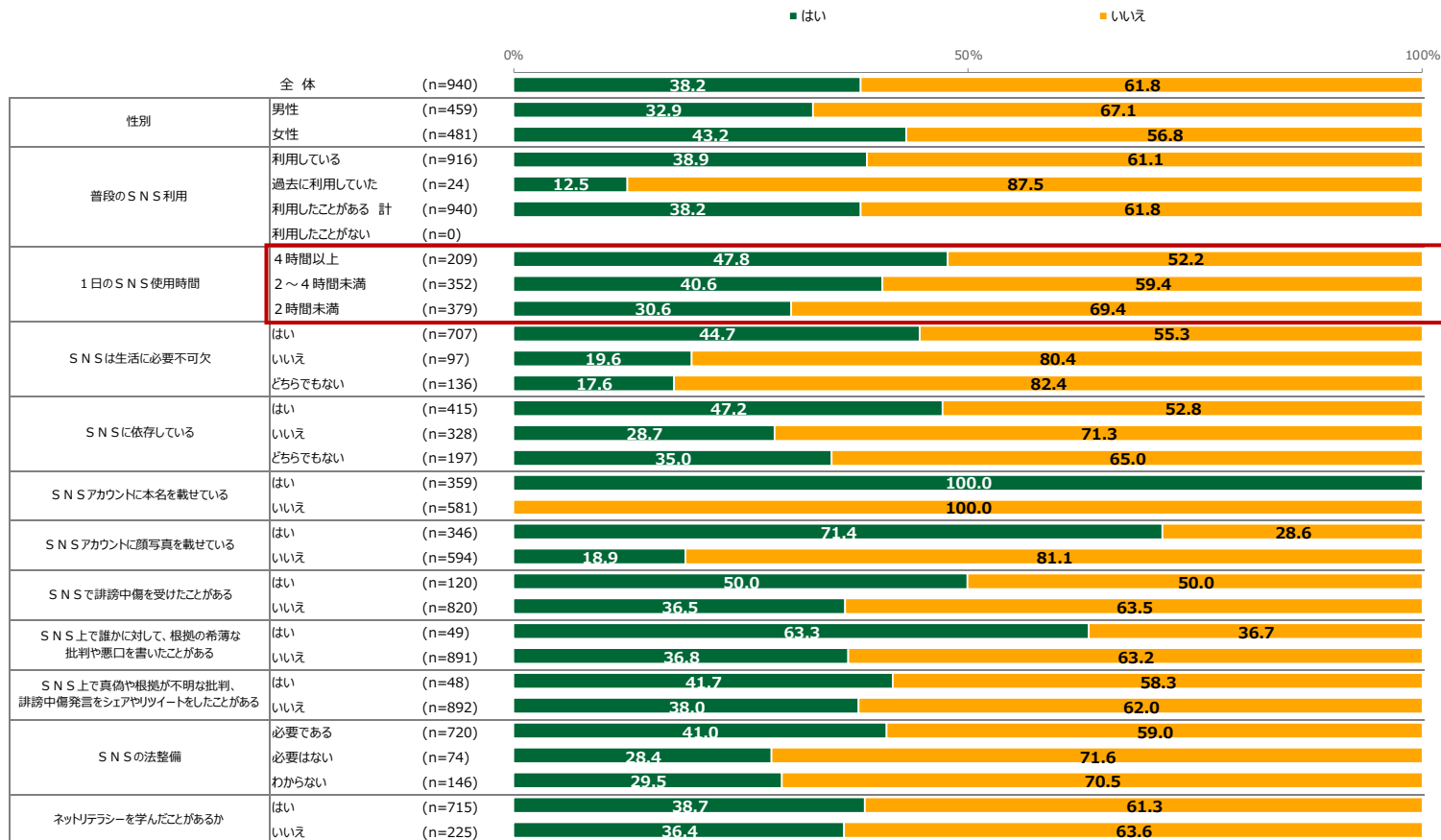
S N S 使用状況 / S N S アカウントに本名を載せている

- アカウントに本名を載せている人は38.2%。女性の方が多く、43.2%。
- S N S の使用時間が長い層ほど、本名を載せている割合も高い傾向が見られる。

■ S N S 使用経験者

Q 以下についてお答えください。

S N S アカウントに本名を載せていますか (いましたか)



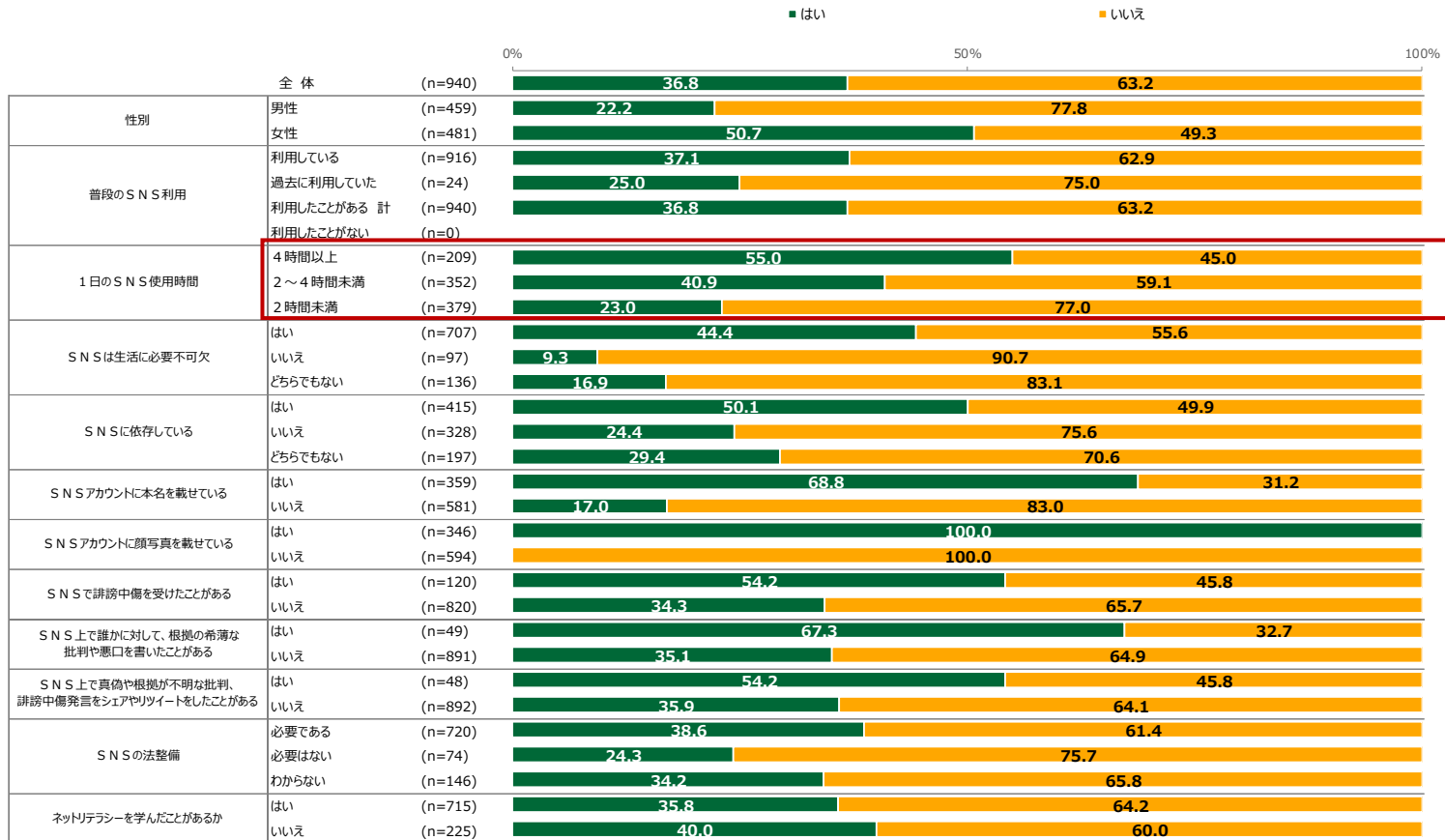
S N S 使用状況 / S N S アカウントに顔写真を載せている

- アカウントに顔写真を載せている人は36.8%。女性の方が多く、50.7%。
- S N S の使用時間が長い層ほど、顔写真を載せている割合も高い傾向が見られる。

■ S N S 使用経験者

Q 以下についてお答えください。

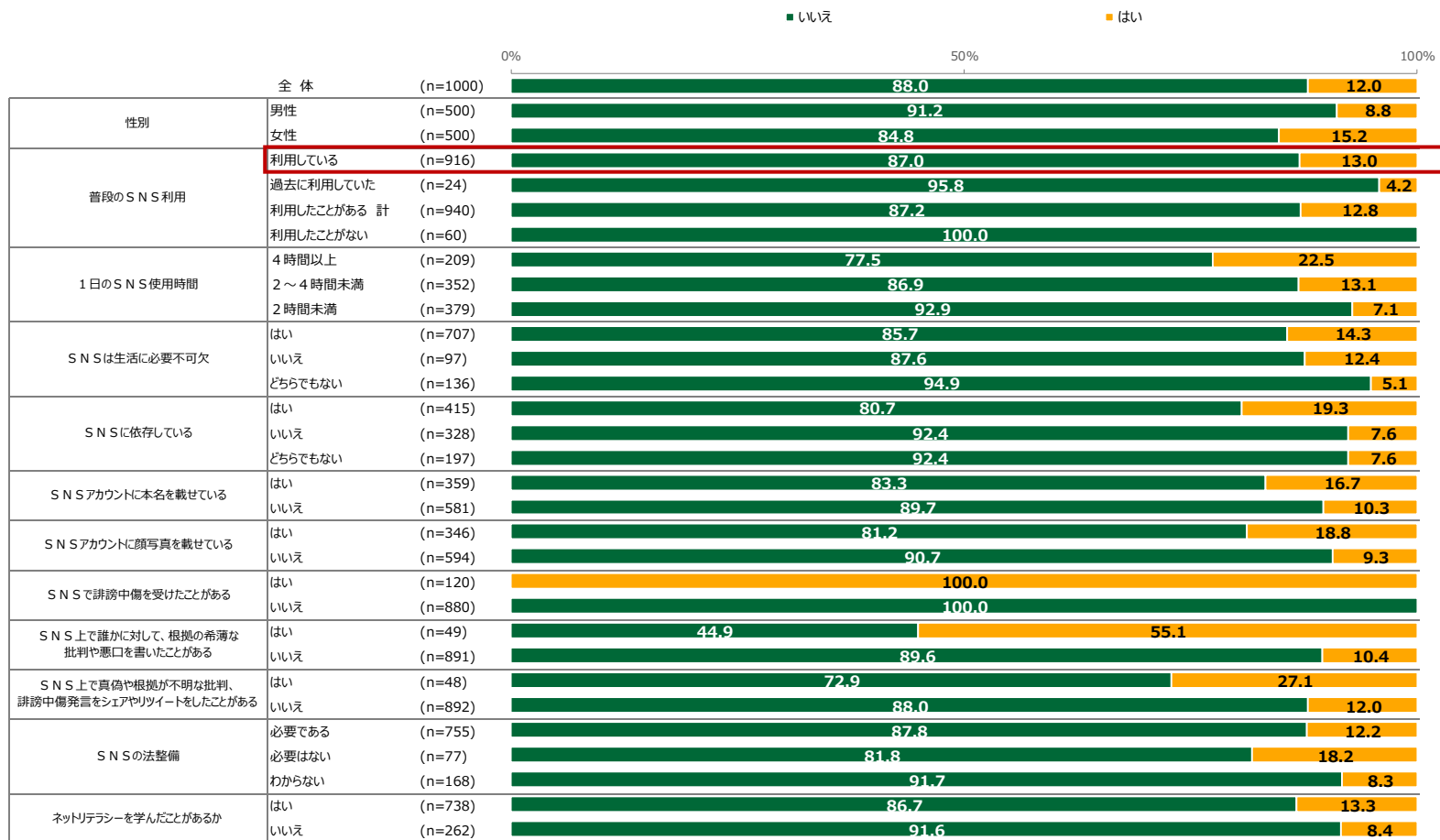
S N S アカウントに顔写真を載せていますか (いましたか)



S N S を通した誹謗中傷の被害の有無

- 全体の12.0%の人が、S N Sを通して誹謗中傷を受けたことがある。
- S N S現使用者についても、使用経験者全体と同様の傾向。

Q S N Sを通して、誹謗中傷を受けたことはありますか。



SNSを通して誹謗中傷を受けた原因

- ・ 誹謗中傷されたことがある人の約3割が「わからない」「知らない」とし、心あたりがないのに被害にあったと回答。
- ・ また、SNS上で「賛否両論の意見を公の場で言ってしまったから」「少し言い過ぎた」「相手をブロックしたこと」など、本人の発信内容が発端で誹謗中傷が始まった経験も挙げられた。
- ・ 「いじめられていて、SNS上でも学校の同級生たちにアカウントを特定されて暴言を吐かれた」「学校の同級生の人で、あまりよく思われていなかったから」といった学校でのいじめや人間関係がSNS上での誹謗中傷につながった経験や、「嫉妬」「相手の勘違い」「友達との喧嘩」なども原因として挙げられた。
- ・ 「誹謗中傷する側に原因がある」など、相手に原因・問題があるという回答も。

(前問:「SNSを通して、誹謗中傷を受けたことはありますか。」)

■ 「はい」回答者

Q 誹謗中傷されたことがある人は、考えられる原因をご記載ください。(自由回答抜粋・原文のまま掲載) (n=120)

わからない／原因はない

- ・ わからない (女性)
- ・ 知りません (女性)
- ・ 原因などない。(男性)
- ・ 特にないと思う。目をつけられただけ (女性)
- ・ 全く思い当たる節がありません。学校も違うのにSNSだけでなくアルでまで嫌がらせされる理由がわかりません。(女性)
- ・ 理由のない嫌がらせ行為 (女性)
- ・ 理由なく... (男性)
- ・ 自分ではわからない (女性)

自分は悪くない／相手に原因がある

- ・ 特になし。誹謗中傷する側に原因がある。(男性)
- ・ こちら側に原因はなかったと思います (女性)
- ・ 俺は何も悪くない (男性)
- ・ 相手の人格に問題が (男性)

自分の発信内容・行動が原因

- ・ ファンの悪口を投稿したから (男性)
- ・ ネットの匿名性にかこつけた批判が起因した炎上 (男性)
- ・ 賛否両論の意見を公の場で言ってしまったから (女性)
- ・ なんでもない普通のツイートに変な人から暴言のリップがたくさんきた (女性)
- ・ 自分の歌声を載せたことや、注意したことに対して (女性)
- ・ 根拠の無い意見をツイートしてしまったから (女性)
- ・ 少し言い過ぎた (男性)
- ・ 愚痴ツイしたから (女性)
- ・ 相手をブロックしたこと。(女性)

嫉妬／妬み

- ・ 特に無い、嫉妬されました。嫉妬って怖いですね (女性)
- ・ 人生楽しそうで、嫉妬されたのだと思う (女性)
- ・ 嫉妬された (女性)
- ・ 自分への妬み (男性)

いじめ／嫌われている

- ・ 軽度の精神障害があり、学校で浮いた存在だったため、いじめられていて、SNS上でも学校の同級生たちにアカウントを特定されて暴言を吐かれた。(女性)
- ・ クラスの中で、女子から仲間外れにされている女子と付き合いながら、ブロックされて影で悪口を言われた (男性)
- ・ 学校の同級生の人で、あまりよく思われていなかったから。(女性)
- ・ 嫌われている (男性)

勘違い／誤解

- ・ 言葉の意味が伝わらなかった (女性)
- ・ 相手の勘違い。(女性)
- ・ 思想の違いや誤解、弱く見られていること=舐められていること (女性)
- ・ 自分の言葉が足りなかったから (女性)

喧嘩

- ・ 喧嘩した (女性)
- ・ 言い合いになった (女性)
- ・ 友達との喧嘩 (女性)

【SNSを通して誹謗中傷を受けた原因「自由回答集」】

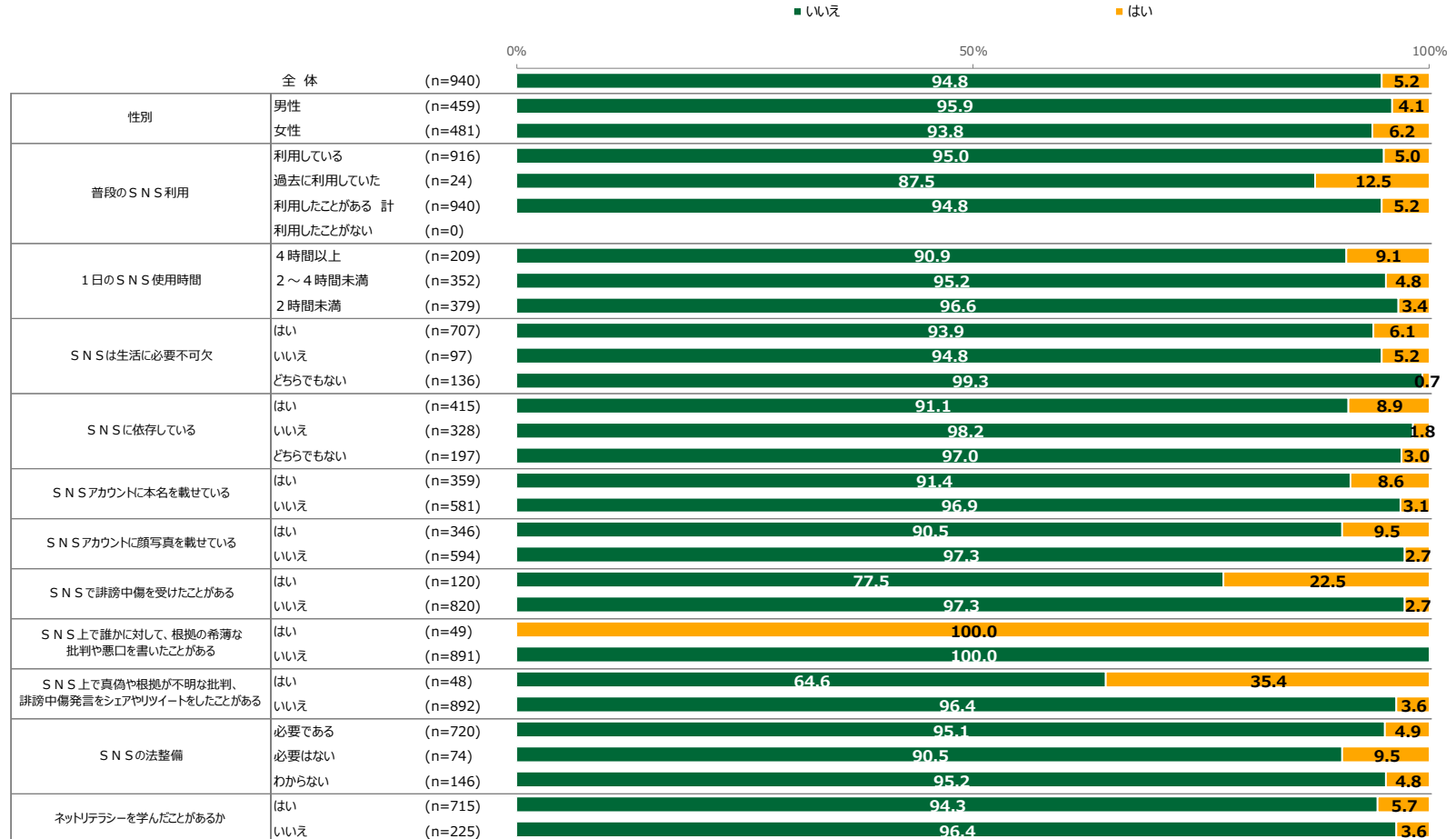
日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

S N S 上での根拠の希薄な批判や悪口の発信の有無

- S N S 使用経験者のうち5.2%が、S N S 上で根拠の希薄な批判や悪口を書いたことがあると回答。

■ S N S 使用経験者

Q S N S 上で誰かに対して、根拠の希薄な批判や悪口を書いたことはありますか。



根拠の希薄な批判や悪口を発信した理由

- 根拠の希薄な批判や悪口を書いた理由は、「腹立たしいから」「気に食わなかった」という相手への嫌悪感、「共感してもらうため」「反応が欲しかった」など注目を浴びたいという気持ち、「深く考えていなかったから」「嗤に思ったから」といった感情に任せて深く考えずに発信してしまったことなどが挙がる。

(前問：「SNS上で誰かに対して、根拠の希薄な批判や悪口を書いたことはありますか。」)

■ 「はい」回答者

Q SNS上で、根拠の希薄な批判や悪口を書いた理由をご記載ください。

(自由回答抜粋・原文のまま掲載) (n=49)

- ・イライラしたから (女性)
- ・ストレスの捌け口 (女性)
- ・みんなに合わせて (女性)
- ・ムカついたから・退屈だったから・共感して欲しいから (男性)
- ・発散するためですが、FFOのアカウントでの書き込みです。 (女性)
- ・反応が欲しかった (男性)
- ・不満が溜まったから (女性)
- ・腹立たしいから (男性)
- ・悪口を書かれたから書いてしまった。 (女性)
- ・暇だったから (男性)
- ・感情任せ (女性)
- ・気に食わなかったから (男性)
- ・共感してもらうため (女性)
- ・その人のことが嫌いだったから (男性)
- ・嫌がらせを受けていたから (女性)
- ・考え方が理解できず苛立って書いてしまった (女性)
- ・あまりにもファンが気持ち悪かったから (男性)
- ・知り合い同士のからかい (男性)

- ・言われる人が嫌われていると言われる人が見ないと分かっているから。 (男性)
- ・自らの応援するアイドルが、同じグループのメンバーにより活動を妨げられてい(ると噂され)たため、その妨害したメンバーへの鬱憤が溜まって、普段から気に食わなかったことを書き込んだことはある。ただ、Twitterの非公開アカウントで書きこんだ。 (女性)
- ・その実況者に対して全くいい感情を抱けなかった。全方位に対してケンカを売る姿勢に腹が立った。 (男性)
- ・自分だけは違うと現したかった (男性)
- ・生きる価値のない人間だから (男性)
- ・無断転載の可能性があるイラストをアイコンにしていた為 (女性)
- ・深く考えていなかったから。 (女性)
- ・嗤に思ったから (女性)
- ・わからない (女性)
- ・特になし (男性)
- ・覚えていない (女性)

【根拠の希薄な批判や悪口を発信した理由「自由回答集」】

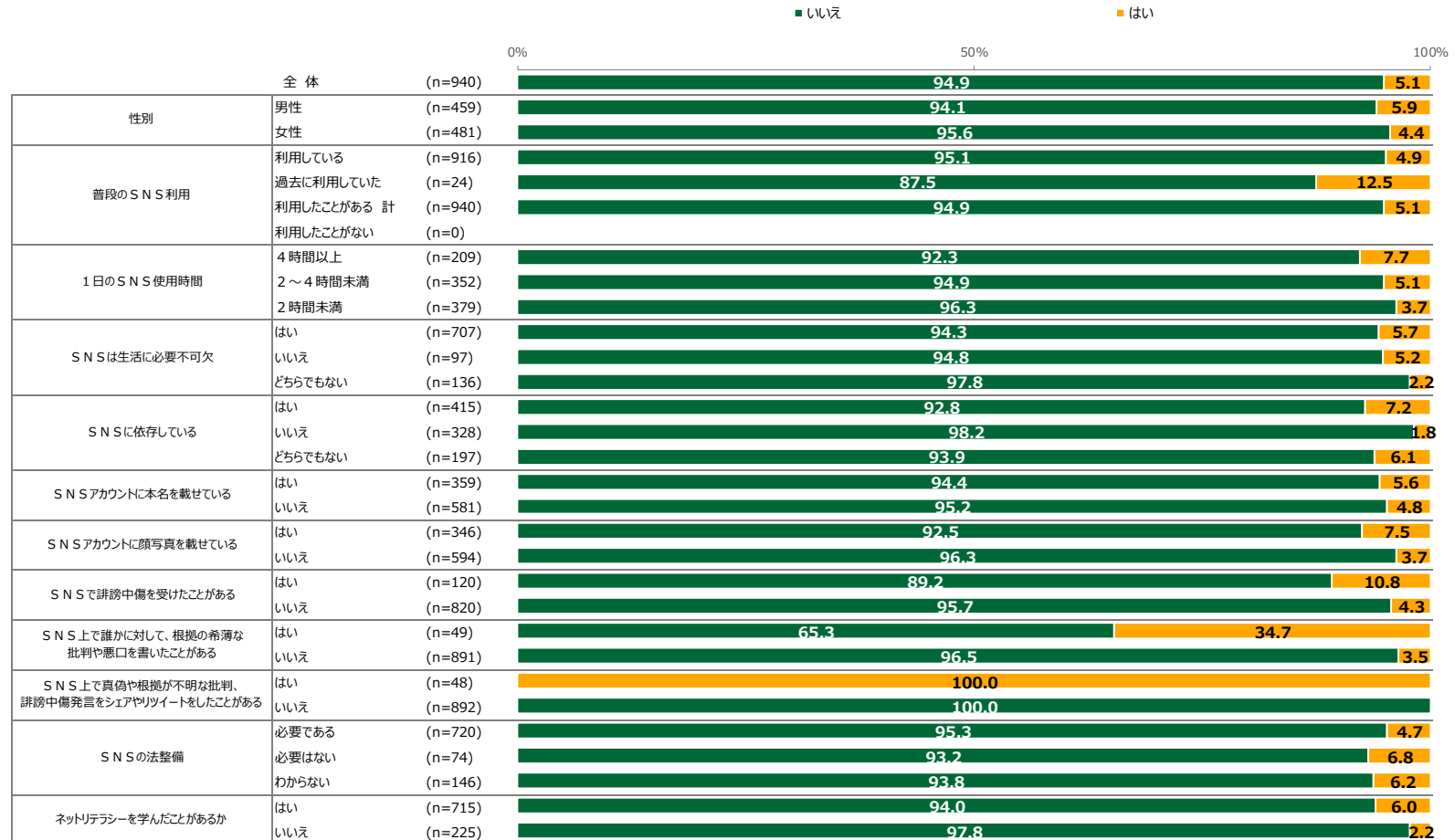
日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

SNS上で誹謗中傷発言をシェア・リツイートした経験の有無

- SNS使用経験者のうち5.1%が、真偽や根拠が不明な批判、誹謗中傷発言をシェアやリツイートした経験がある。

■ SNS使用経験者

Q SNS上で真偽や根拠が不明な批判、もしくは誹謗中傷発言をシェアやリツイートをしたことがありますか。



誹謗中傷発言をシェア・リツイートした理由

- ・ シェアやリツイートした理由は、「その時は本当だと思ってたから」「後に真偽が不明だと気づいた」「誤ったソースが元の記事であることに気づけなかったため」など真実と思いシェアしてしまったという確認不足や誤認、「共感していいねを押した」「自分が賛同したから」とその発言に対しての共感、反対に「発言内容を批判するため」「誹謗中傷は、よくないと思ってリツイートした」とSNS上の意見に反論する目的などが理由に挙がる。

(前問：「SNS上で真偽や根拠が不明な批判、もしくは誹謗中傷発言をシェアやリツイートをしたことがありますか。」)

■ 「はい」回答者

Q SNS上で真偽や根拠が不明な批判、もしくは誹謗中傷発言をシェアやリツイートした理由をご記載ください。
(自由回答抜粋・原文のまま掲載) (n=48)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ その時は根拠があると思っていた (男性)・ その時は本当だと思ってたから (男性)・ その情報が本当か判別する手段がなかったから (男性)・ 特に何も考えずにリツイートしたが、後に真偽が不明だと気づいた。 (男性)・ 誤ったソースが元の記事であることに気づけなかったため。 (男性)・ ちゃんと見ていなかったからです。 (男性)・ フィーリング (女性)・ むしろその情報のほうが正しいから (男性)・ 引用的な使い方をした (女性)・ 拡散して周囲の人にも知ってもらおうと思ったから (男性)・ 覚えていないけどRTした (男性)・ 危ない人だったりするので、他の人が関わらないように (女性)・ 嫌いな芸能人だったから (男性)・ 酷い話だと思ったから (女性)・ 嫌だと思ったから (女性) | <ul style="list-style-type: none">・ 共感していいねを押したことがある。 (女性)・ 共感でき許せないことだと思ったから (男性)・ 自分がその意見に対して正しいと思ったから。 (女性)・ 自分が賛同したから (男性)・ 信じてしまった (女性)・ 真偽より面白そうという好奇心が勝ったから (女性)・ 正論を述べていたから (男性)・ 退屈だったから (男性)・ 頭にきたから。 (女性)・ 発言内容を批判するため (女性)・ 反出生主義のツイート。共感できるのをRTしているから (女性)・ 誹謗中傷は、よくないと思ってリツイートした (男性)・ 面白そうなネタだから (男性)・ なんとなく (男性)・ わからない (女性)・ 特にない (男性) |
|--|--|

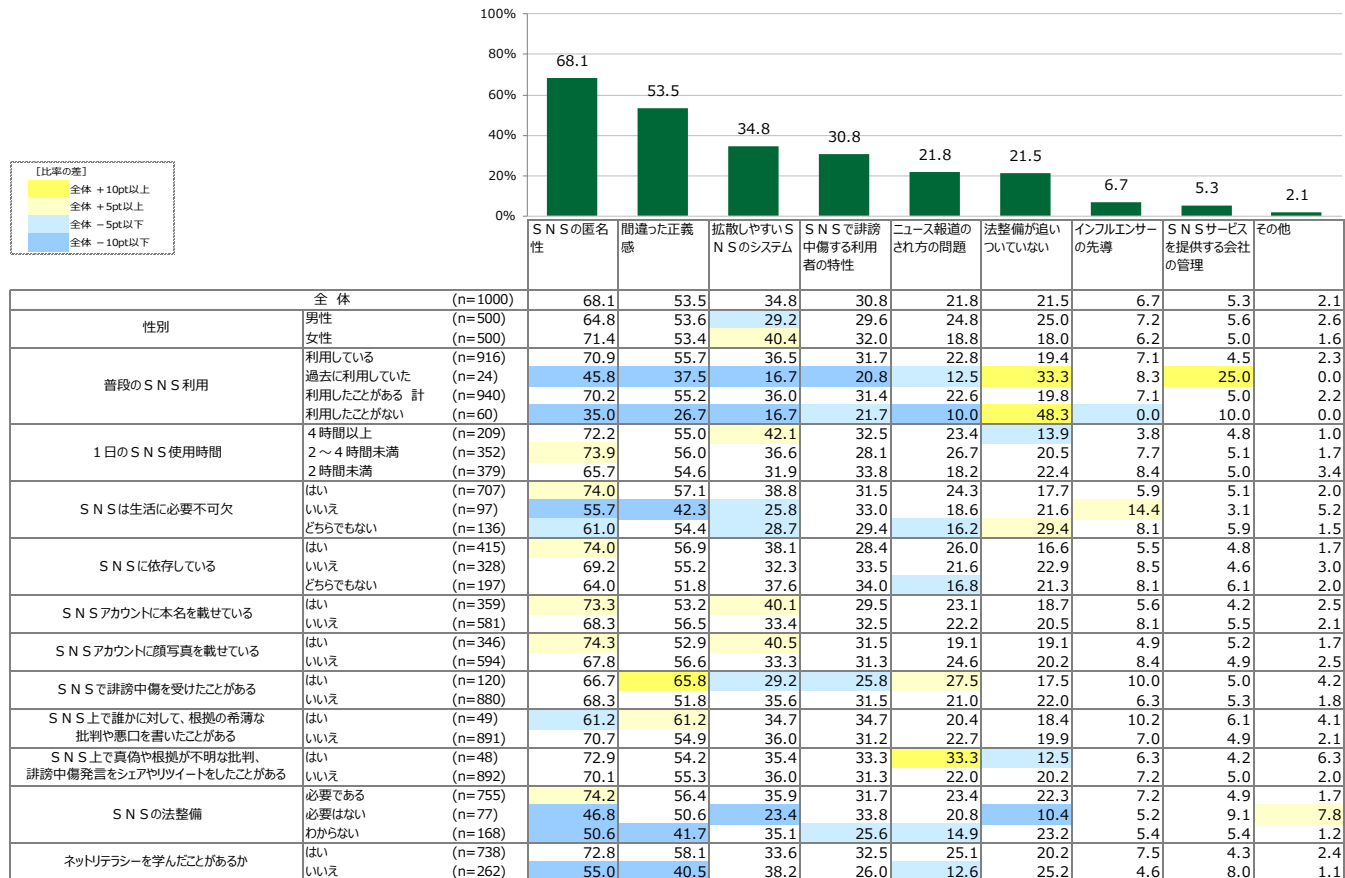
【誹謗中傷発言をシェア・リツイートした理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/

医療従事者や配送業者に対するSNS上での誹謗中傷の原因

- 医療従事者や配送業者に対する誹謗中傷の原因として考えられるのは、「SNSの匿名性」(68.1%)が最多。次に多い「間違った正義感」(53.5%)についても過半数が原因として指摘している。
- 次いで「拡散しやすいSNSのシステム」(34.8%)、「SNSで誹謗中傷する利用者の特性」(30.8%)と続く。

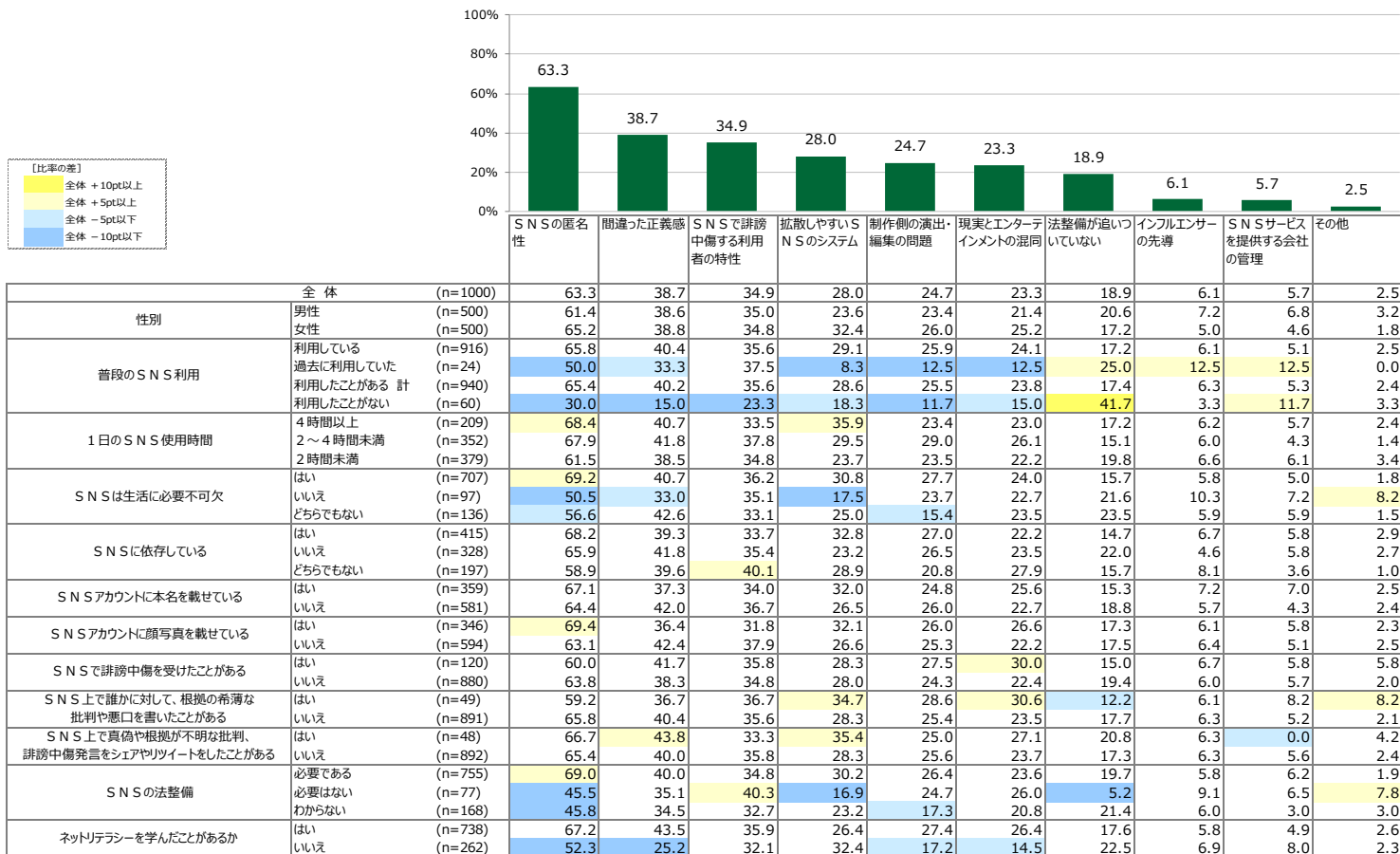
Q コロナ禍においても医療従事者や配送業者などに対する、SNS上での誹謗中傷が問題となりました。誹謗中傷の原因は何だと思いますか。(複数回答)



リアリティーショー出演者に対するSNS上での誹謗中傷の原因

- リアリティーショー出演者に対する誹謗中傷の原因については、「SNSの匿名性」(63.3%)が主な原因として考えられている。次いで、「間違った正義感」(38.7%)、「SNSで誹謗中傷する利用者の特性」(34.9%)。

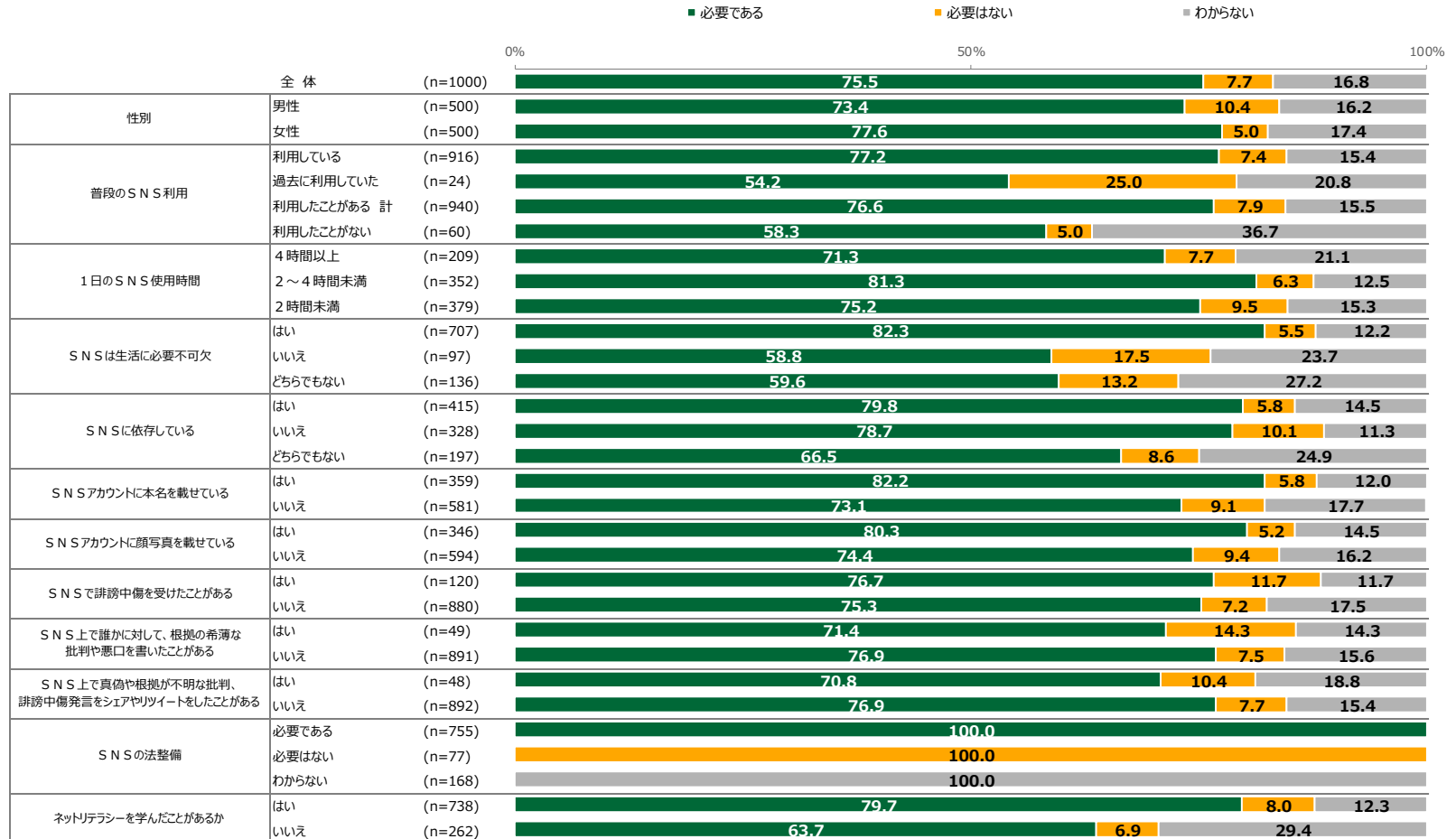
Q 昨今、国内外でリアリティーショーに出演した人がSNS上での誹謗中傷を苦にして自殺する事件が起きています。出演者が誹謗中傷被害を受けるのは何が原因だと思いますか。(複数回答)



S N S の法整備の必要性

- S N S の法整備については、75.5%が「必要である」と回答。

Q S N S 上で誹謗中傷や風評被害などが相次ぎ、法整備が検討されています。どう思いますか。

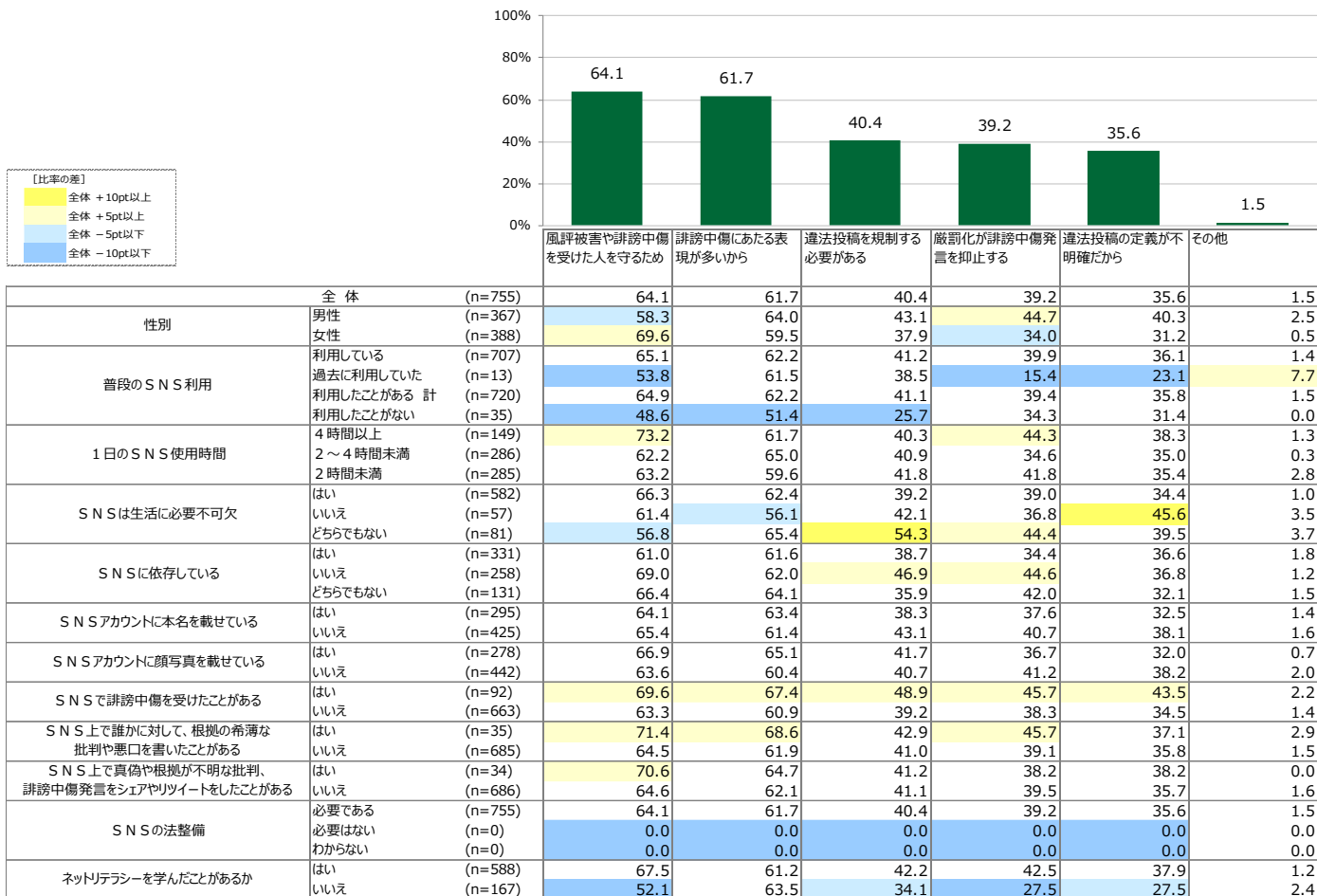


SNSの法整備の必要性「必要である」回答理由

- 法整備を必要であると回答した理由は、「風評被害や誹謗中傷を受けた人を守るため」(64.1%)、「誹謗中傷にあたる表現が多いから」(61.7%)が主な理由。ほか、「違法投稿を規制する必要がある」(40.4%)。

■「必要である」回答者

Q SNS上の法整備が「必要である」とした理由を選択してください。(複数回答)

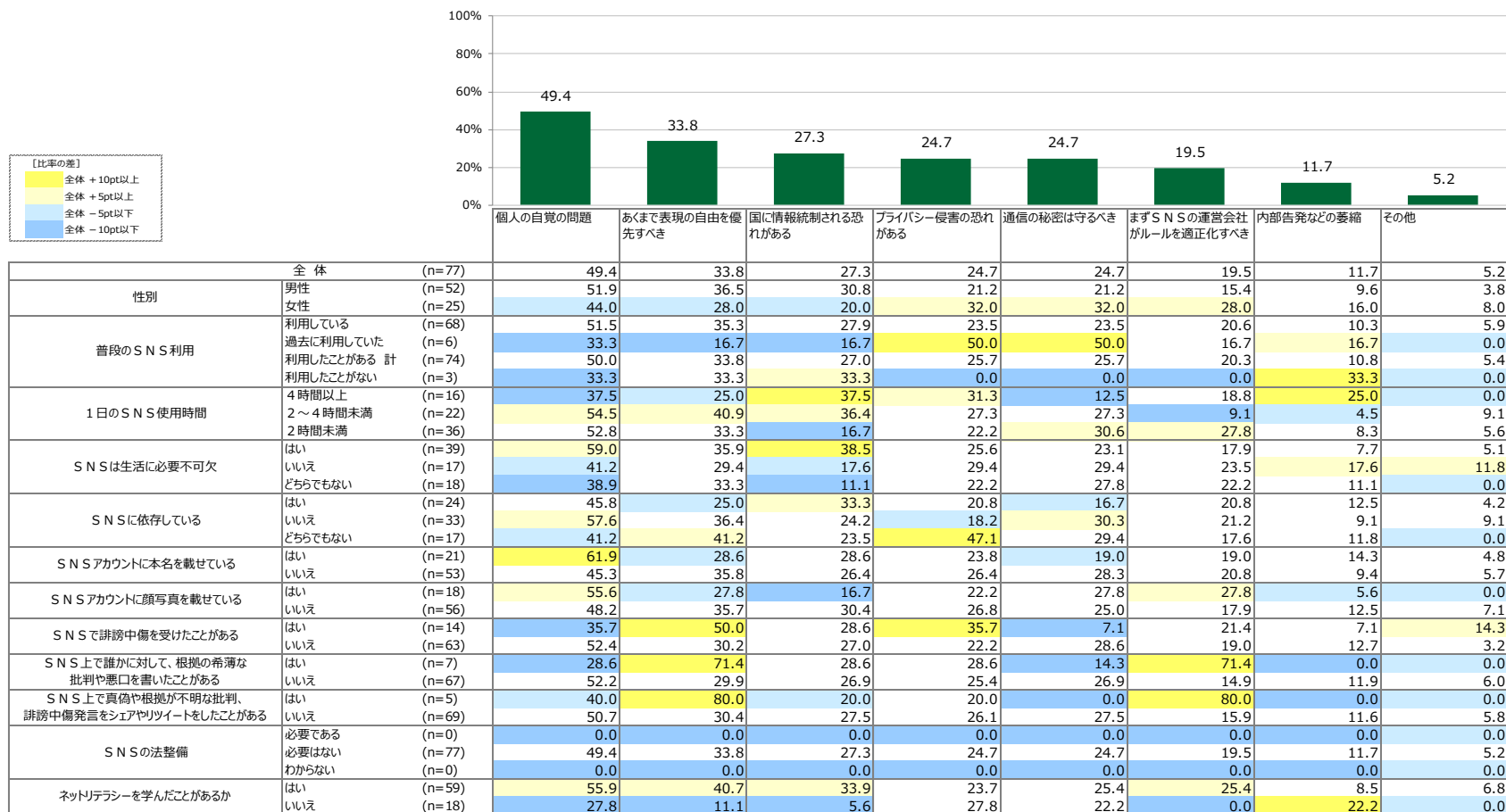


S N S の法整備の必要性「必要はない」回答理由

- 法整備の必要はないと回答した理由は、「個人の自覚の問題」(49.4%)が最多。次いで「あくまで表現の自由を優先すべき」(33.8%)、「国に情報統制される恐れがある」(27.3%)と続く。

■ 「必要はない」回答者

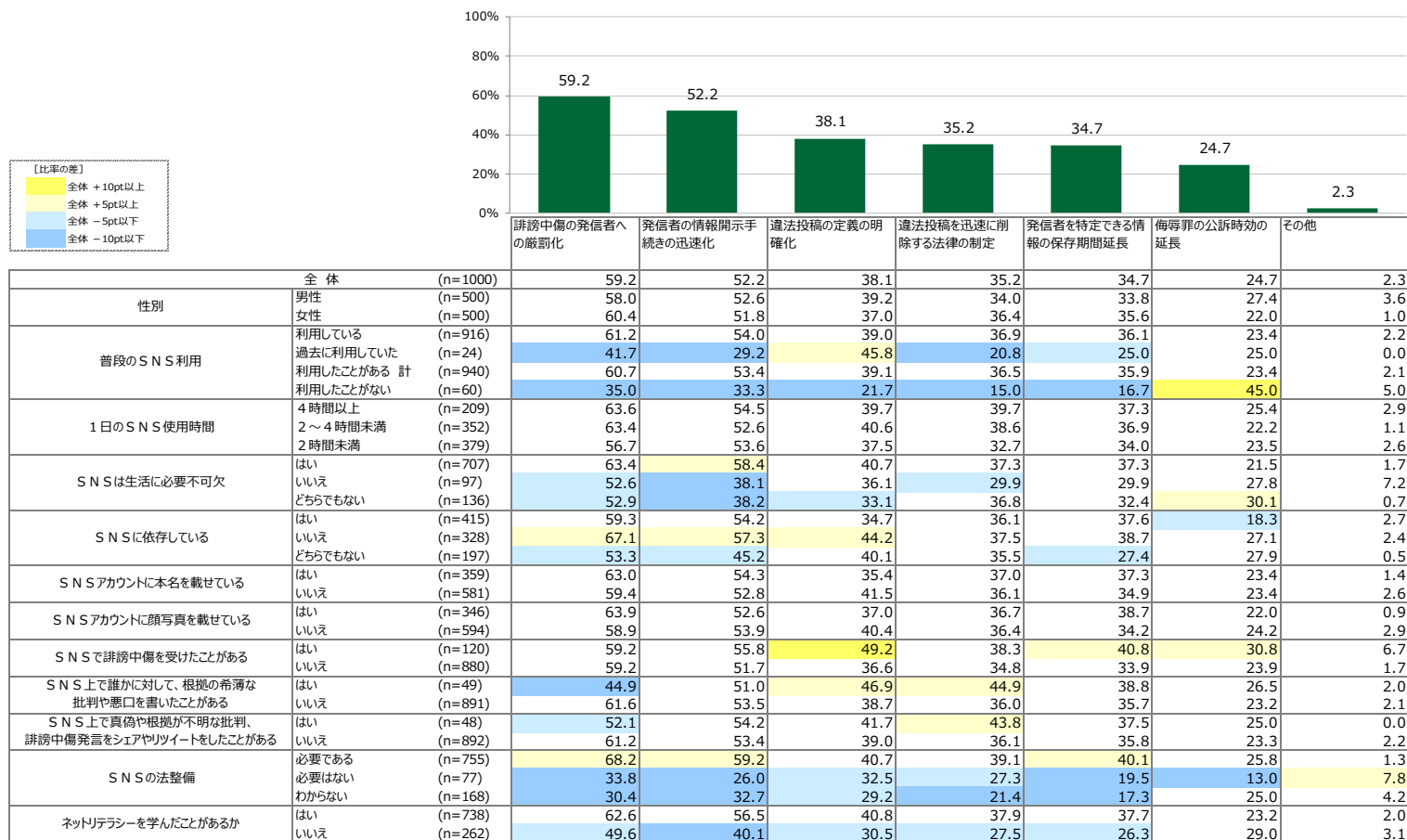
Q SNS上の法整備が「必要はない」とした理由を選択してください。(複数回答)



法整備に向けて盛り込むべき点

- 法整備に向けて盛り込むべき点は、「誹謗中傷の発信者への厳罰化」(59.2%)が最多。次いで「発信者の情報開示手続きの迅速化」(52.2%)、「違法投稿の定義の明確化」(38.1%)と続く。

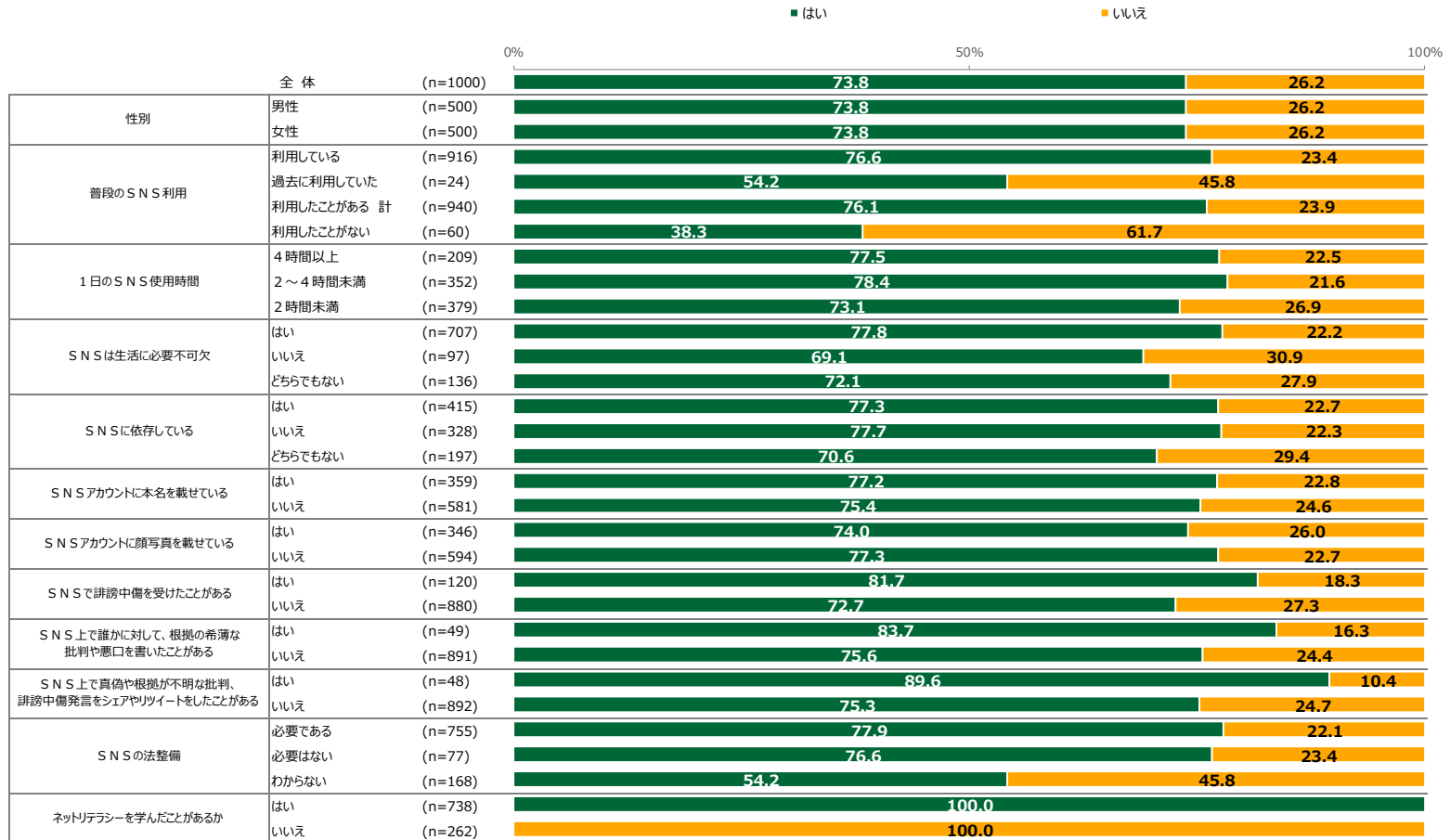
Q 法整備に向けて、どのような点を盛り込むべきだと思いますか。(複数回答)



ネットリテラシーを学んだ経験の有無

- 全体の73.8%の人がネットリテラシーを学んだ経験があると回答。

Q インターネット上の情報を正しく使うための知識である「ネットリテラシー」を学んだことがありますか。

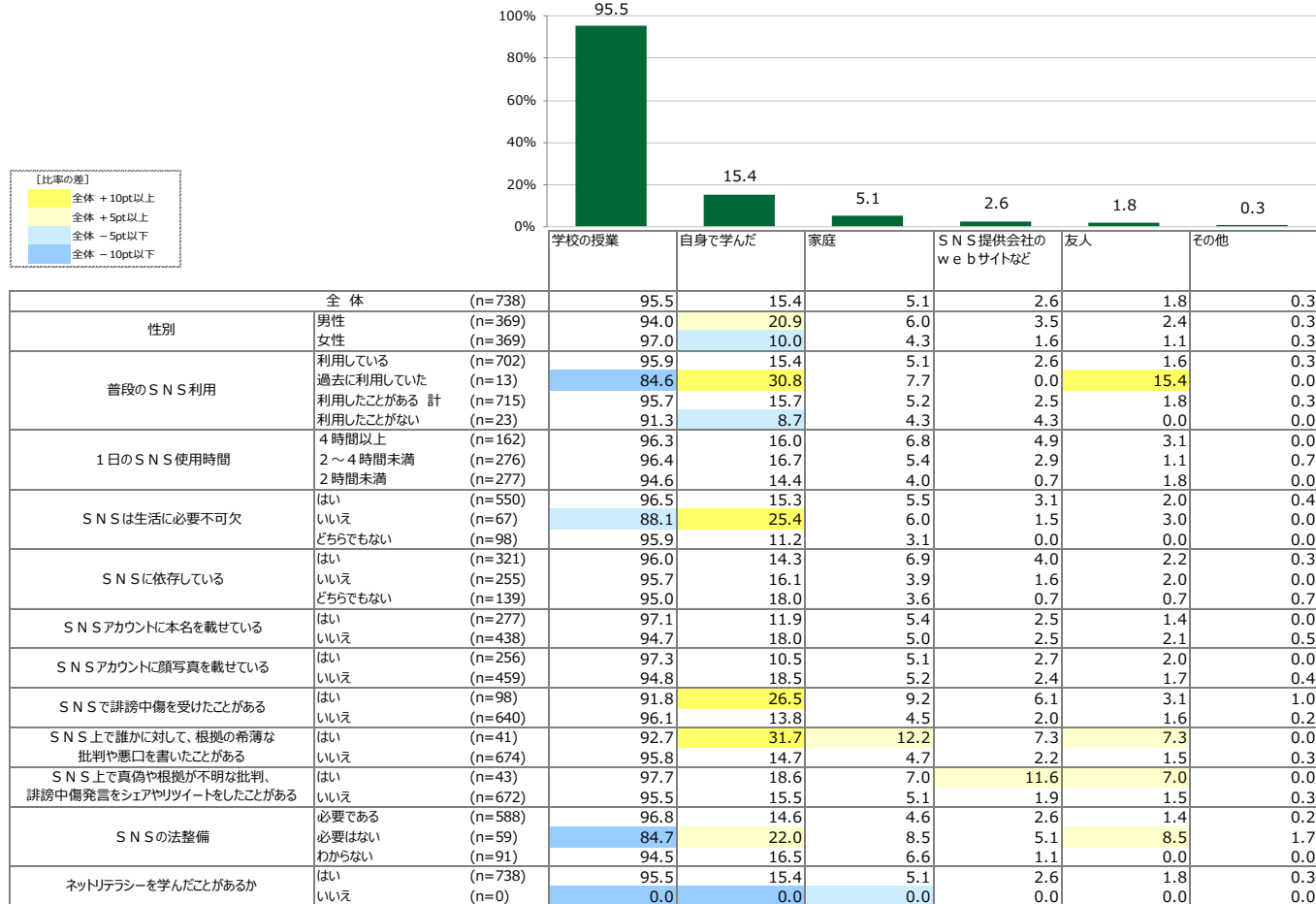


ネットリテラシーを学んだ場所

- ネットリテラシーを学んだ経験がある人のうち95.5%が「学校の授業」で学んでいる。「自身で学んだ」は15.4%。

■ 「学んだ経験がある」回答者

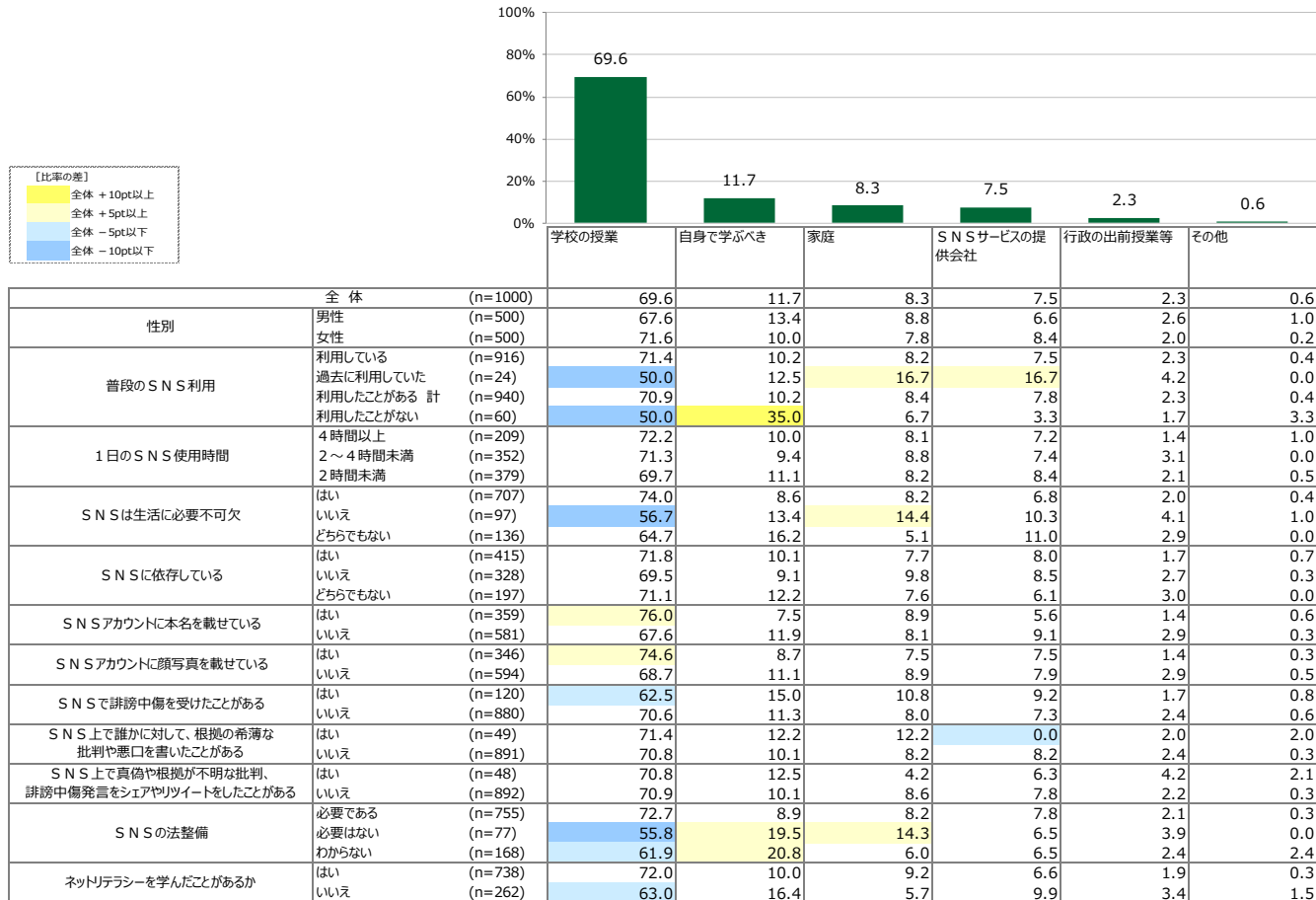
Q ネットリテラシーをどこで学びましたか。(複数回答)



ネットリテラシーを教えるべき場所

- ネットリテラシーを教えるべき場所としても、「学校の授業」(69.6%)が最多。
- 次いで「自身で学ぶべき」(11.7%)、「家庭」(8.3%)と続く。

Q ネットリテラシーは、主にどこで教えるべきだと思いますか。(単一回答)



急速に拡大したSNSをうまく使いこなすためには

- SNSをうまく使いこなすための対策として、「SNSの危険性を知り、自分の発言に責任を持つこと」「一人一人が自覚を持った使い方をし、周りに流されない心が大切だと思う」など、一人一人が意識を持つことや発言に対して責任を持つことが大事、という意見が多く寄せられた。また「誹謗中傷は絶対にしない」「人の気持ちを考える」など、相手の気持ちを考えることが大切だという声も。
- そのほか、「情報の取捨選択や真偽を見極める能力をもつべき」「正しい情報か判断するため、多くの情報を見る」など、情報を鵜呑みにせず、正しい情報かを見極める力をつけるべきという意見。「学校の授業でネットリテラシーについてもっと深く学ぶべきだと思う」「みんなが学べる機会を設けること」とネットリテラシーを学ぶ必要があるという意見。「時間の制限」「年齢制限をかける」「誹謗中傷などを対象とした法律制度を作るべき」など、使用する際の制限を設けたり法の整備をするべきという意見が見られた。

Q 急速に拡大したSNSをうまく使いこなすには、どうすべきだと思いますか。（自由回答抜粋・原文のまま掲載）（n=1000）

一人一人が意識を持つ／発言に対して責任を持つ

- SNSの危険性を知り、自分の発言に責任を持つこと。（女性）
- 一人一人が自覚を持った使い方をし、周りに流されない心が大切だと思う。（男性）
- 一人一人の意識を高めることしかないかなと（男性）
- 画面の向こうも同じ人間だということを意識する（女性）
- 言葉という刃に気をつける（男性）
- 考えて投稿やツイートをする（男性）
- 使う上で自分の言葉がどのように影響するのかを考える（男性）
- 自分が誰かに見られて、誇れない行動はしない意識をすべての人が持つ（女性）
- 自分の意見が世界中に発信されることを頭に入れるべき（男性）
- 匿名ではあるが、自らの発言に責任を持つこと。（男性）

情報を鵜呑みにしない／正しい情報かを見極める

- 嘘と嘘と見抜けるようになる事 エンタメと現実との見切りをつけること（女性）
- 情報の取捨選択や真偽を見極める能力をもつべき（女性）
- 情報を鵜呑みにせずまずはその情報を疑うという癖をつける。（男性）
- 情報発信をする場合はその内容がフェイクではないか、人を傷つけるものではないか常に考える。また、情報を受け取る場合は真実を確認し、すぐに信じない。（男性）
- 信用できる情報と信用できない情報を見極める(専門家が発信している、公式アカウントが発信している etc.)（男性）
- 正しい情報か判断するため、多くの情報を見る。（女性）
- 非正確な情報に惑わされてすぐに人を批判するのではなく、一人一人が正しい情報を知ろうとする姿勢を持つべき（女性）
- 目先の情報を鵜呑みにせず自分で合点の行くまで調べる。（男性）

ネットリテラシーを学ぶ／教育の場を設ける

- SNSについて何らかの方法で正しい使い方を学ぶべき（女性）
- みんなが学べる機会を設けること（女性）
- 学校の授業でネットリテラシーについてもっと深く学ぶべきだと思う（女性）
- 義務教育にSNSに関する教育を取り込む（男性）
- 教育に取り入れる、慣れるまでは無闇に使わない（女性）
- 小学校のうちからネットリテラシーについて学ぶべき（男性）
- 情報に対する知識を確実に学ぶこと。（男性）
- 発信者は情報を発信することに責任を持つべき。全国民がネットリテラシーを学ぶべき。（男性）
- 幼少期からネット上でのマナーをしっかりと学ぶ。何か投稿する前に落ち着いていったん読み直し、他人を不快にさせたり傷つけたりすることを書いていないかチェックする。（女性）

誹謗中傷を書き込まない／相手の気持ちを考える

- 悪口や誹謗中傷を書き込まないようにするべき（女性）
- 自分が投稿した内容に誰かを傷つけてはないか今一度考えてから投稿するべきだ。（男性）
- 人の気持ちを考えること（女性）
- 相手の気持ちを考えてSNSを使うこと（女性）
- 相手はケータイでなく、人であることを考える。例えば、その悪口や嫌味は本人の目の前で面と向かって他の人も見ている中で言うかどうか考える。（女性）
- 誹謗中傷は絶対にしない。個人情報載せない（女性）
- 誹謗中傷や根拠のない事を書かない（男性）

法の整備／制限（年齢・時間など）をかける

- 時間の制限（女性）
- 誰がなんと書き込んだのかなどを会社が特定できるようにしてあまりにも不適切な投稿をしている人を罰するようになれば自分の書き込みに責任を持たずに書き込む人が増えてしまうと思う（男性）
- 投稿できない文字を決めてもらってそれを書いた場合には投稿できないようにするシステムを作る（女性）
- 匿名だからといってSNSで誹謗中傷する人たちの性格を変えることはできないので法整備をするべきだ（女性）
- 年齢制限をかける（男性）
- 誹謗中傷などを対象とした法律制度を作るべきだと思う。（男性）
- 明確な法制化（男性）

依存しない／使わない

- SNSに依存しすぎない（女性）
- SNSを使う時間を減らす（男性）
- どっぷり浸かり過ぎないようにするべき。（男性）
- 自分の必要と思ったことしか使用しない。なににでもSNSに依存しない。（女性）

ルールやマナーを守って使う

- SNS上でのマナーを守る（男性）
- みんなが常識をもってやるべき（女性）
- 最低限のマナーに気をつけて楽しむ（男性）
- 利用規約にのっとって使用するべき。（女性）

【急速に拡大したSNSをうまく使いこなすためには「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/